

学生の皆さんへ「令和3年度後期の開始にあたって」（9月30日、校長講話）

皆さん、おはようございます。校長の田村です。

コロナ禍での夏休みになりましたが、いかが過ごされたでしょうか。旅行や部活動も思うように出来ず大変だったと思いますが、それでも工夫しながら、時間を有効に使えたでしょうか。

本日から後期の授業が対面で始まりましたが、やはり、学校の教育は対面が大切ですね。確かにインターネットでも知識を得る環境が充実してきましたし、コロナ禍はオンライン授業の導入という教育改革を加速させました。では、学校という空間は何を学ぶ場であろうかと考えると、私は、人と人の繋がりや社会性を対面で学ぶ場であると言えるように思います。特に、命と人権については、インターネットやオンラインでは、薄っぺらな知識を得るだけのようには思います。いや、むしろ、私は、バーチャルな世界が創り出す「命」や「人権」に対する感覚が与える影響は、危険な気がします。

皆さんは、本校に入学するときに科学技術の道を選ばれました。将来、エンジニアとして、人々を幸せにすることを目指してくれました。この皆さんが選んだ科学技術者は、人並み以上に命や人権についての高い意識、判断力、勇気、そして、行動力を身に付けていなければいけません。

私は、本校で皆さんに2つの「そうぞうりよく」を身に付けてもらいたいと思っています。一つは、新たな物を創り出す力としての「創造力(creativity)」。これは高度な知識や技術、論理的思考能力によって、より豊かな社会を創り出す力です。

ただ、この新たな物を創り出す力としての「創造力」は、インターネットでも学ぶことが出来るかも知れません。しかし、この創造力の一つ使い方を間違えると、社会を破壊する力、多くの人々を平和どころか不幸のどん底に落とし入れる力になり、ここで身に付けた論理的思考能力は、自分のやりたいことを勝手に誘導し、また失敗した際の言い訳をするための能力になってしまいます。

そこで大切なのが、もう一つの「そうぞうりよく」、つまり、命や人権に基づいて、その言動の先に起こることをイメージできる力としての「想像力(imagination)」です。こちらの想像力(imagination)は、オンラインのモニター越しでは学ぶことが難しいと思います。人それぞれの価値観、人生観、宗教観などの相違や、目的やゴールは同じでも手段やプロセスに対する意見が食い違う場合に、お互いが折れ合って平和に解決する力は、相手の感情を察する力や物事に誠実に対応する力、そして、命や人権を大切に作る心が必要となり、まさに対面で人間の五感を使いつつ生活する社会の中でこそ身につくものです。

人類の歴史を遡ると、まさに、自然災害や、今回のコロナのような疫病との戦いのみならず、人間同士の戦争や対立を繰り返しています。世界平和を究極の目的としているオリンピックの起源も、その背景には戦争があります。マラソン競技も戦

争に勝った戦勝報告を起源としています。また、パラリンピックの起源は、戦争で負傷した兵士のリハビリテーションにあるといわれています。社会の情報化やグローバル化を加速させたインターネット技術の開発も軍事目的でした。なぜ、これほどまでに人類が戦争を繰り返すのか。ぜひ、皆さんには命と人権の観点から考えて頂きたいと思います。

一方で、多くの人がパラリンピックの選手の活躍に感動し涙するのは、一つは、彼らの不幸な出来事に共感し、そして、もう一つは、その不幸や絶望を乗り越えた姿を目の当たりにするからでしょう。不幸を乗り越える努力は本当に素晴らしいことです。しかし、もっと大切なことは、不幸を起こさないことです。可能な限り不幸が起きない社会にすることが何より大切です。私は、その根本にあるのが命を大切にすることと人権の尊重だと思っています。これらに対する意識を欠いたとき、人災が発生するのです。いじめの問題もしく、人が戦争を起こす根本原理はいじめに繋がっています。ぜひ、本校での日常の中で、命と人権を大切に「強く優しい心を」磨いて下さい。

さて、少し前（6月末）のことになりますが、近所の方から学校へ電話がありました。電話を受けた方の話では、「私は、近所で田んぼ仕事をしている者ですが、高専の学生さんが、部活動の帰り道、とても元気の良い、気持ちの良い挨拶をしてくれるので、思わず嬉しくなって電話差し上げました。」といった内容でした。

おそらく、この学生も部活動で疲れていたであろうと思いますが、見ず知らずの方とはいえ、土と汗にまみれて働いている方に、通りかかった瞬間に爽やかな挨拶ができる。とても素晴らしいことだと思います。きっと、思いやりに満ちた優しい心を持った学生であろうと察します。私もこれを聞いてとても晴れやかな気持ちにさせて頂きました。私からもお礼を言いたいと思います。ありがとう。

そして、今年の高専祭のテーマも「reboot」、ここから再始動ですね。本年度後期も充実した日々を送りましょう。

本日の講話は、以上です。